

令和7年度 皮革産業技術者研修

「革製品の基礎知識」 募集案内



皮革関連産業で働く技術者等の方を対象に、「革製品の基礎知識」と題し、研修会を開催します。
本研修は、革製品を扱う上で必要な基礎知識を広く習得していただけるよう、多様なカリキュラム構成としています。皆様のご参加をお待ちしています。

- 開催日：令和8年1月15日(木)～令和8年1月30日(金)のうちの5日間
- 会場：東京都立皮革技術センター 3F 講習室
- 定員：各講義 25名程度
- 受講料：無料
- 申込方法：電子申請（申請フォームにアクセスしてお申し込みください。）
申請フォーム <https://logoform.jp/f/rL7kG>
1講義からお申込み可能です。
※電子申請が難しい方は、問合せ先にご連絡ください。
- 申込締切：令和7年12月18日(木)
- 受講可否：締切後令和7年12月25日(木)までに、電子メールで受講可否のご連絡をします。
連絡した旨をホームページ上でお知らせいたしますので、連絡がない場合はお問い合わせ下さい。
- 問合せ先：東京都立皮革技術センター 〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-3-14
TEL:03-3616-1671 FAX:03-3616-1676 E-mail:kennsyuu.hikaku@hikaku.metro.tokyo.jp
本研修のご案内：<https://www.hikaku.metro.tokyo.lg.jp/honsho/news/>（担当：富永・青木）



申請フォーム



研修のご案内

(詳しい内容を紹介しています)

9 内容

日	時	講義	講師
1/15 (木)	13:30～ 16:45	1. 天然皮革の基礎知識 ～体感して学ぶ革の特性～	NPO法人日本皮革技術協会 副理事長 稲次 俊敬 氏
1/19 (月)	13:30～ 15:00	2. 100年先の皮革産業を“明るく楽しい業界” にするために今わたしたちが“すべき”こと	株式会社 ロビココ 代表取締役 森田 正明 氏
	15:15～ 16:45	3. 百貨店の品質管理と グリーンウォッシュのリスク	株式会社 消費科学研究所 繊維雑貨事業部 シニアエキスパート 村井 大輔 氏
1/23 (金)	13:30～ 15:00	4. 人工皮革・合成皮革	京都女子大学 家政学部生活造形学科 教授 榎本 雅穂 氏
	15:15～ 16:45	5. 革製品の品質表示	都立皮革技術センター 専門技術指導員 今井 哲夫
1/27 (火)	13:30～ 15:00	6. 革中の規制物質について	株式会社 エトールナカムラ 取締役 中村 泰久 氏
	15:15～ 16:45	7. 世界動向から見る日本の皮革産業のサステナビリティ戦略～JLIA サステナブル企業認証 と日本エコレザー認定制度の役割～	一般社団法人 日本皮革産業連合会 事務局長 吉村 圭司 氏
1/30 (金)	13:30～ 15:00	8. 紳士靴の基礎知識 ～靴の歴史・製法から検査のポイントまで～	株式会社 リーガルコーポレーション 調達本部 副部長 石原 邦生 氏
	15:15～ 16:45	9. 天然皮革がサステナブル素材 である理由と2025年の現状	株式会社 川善商店 代表取締役 (一般社団法人日本皮革産業連合会 TLA座長) 川北 芳弘 氏

※カリキュラムの変更等がある場合は、随時ホームページ上でお知らせいたします。

講義内容

1.「天然皮革の基礎知識 ～体感して学ぶ革の特性～」
NPO法人日本皮革技術協会 副理事長 稲次 俊敬 氏
革製品を製造、あるいは販売する上で、クレームを防ぐためには、革の特性や弱点について理解しておく必要があります。知っておくべき天然皮革の様々な特性(繊維構造、染色堅ろう度、水分特性、耐熱性、強度等物理特性など)について、事故事例の紹介とともに簡易的な実習を通して解説します。
2.「100年先の皮革産業を“明るく楽しい業界”にするために今わたしたちが“すべき”こと」
株式会社ロビココ 代表取締役 森田 正明 氏
1990年代以降、衰退の一途をたどる日本の皮革業界が、これから未来に向けて再び発展していくために“すべき”ことを具体的な事例とともに紹介します。 ・“100年後の日本の皮革業界”をイメージする。 ・“100年後の伝統工芸”を目指した地域産業の創出 ・“日本らしさ”を取り入れることで“国産レザーの市場価値”を創出 ・“レザーの新たな価値”を創る異業種とのコラボレーション ・「皮から革へ」皮革産業の本質は“資源活用”という社会貢献
3.「百貨店の品質管理とグリーンウォッシュのリスク」
株式会社消費科学研究所 品質管理事業統括部 繊維雑貨事業部 繊維雑貨グループ シニアエキスパート 村井 大輔 氏
幅広い商品を取り扱う百貨店における品質管理の取り組みや皮革製品に関する商品苦情の傾向、事例などについて解説します。また、「グリーンウォッシュ※」を例にして、ヴィーガンレザーなど環境関連の様々な新しい用語やラベルで混乱している方々に向けて、現状や今後の方向性についてお話しします。 ※グリーンウォッシュとは、企業が実際以上に環境に配慮しているように見せかける宣伝手法を指します。
4.「人工皮革・合成皮革」
京都女子大学 家政学部 生活造形学科 教授 榎本 雅穂 氏
人工皮革・合成皮革は、天然皮革とは異なる素材ですが、靴やかばん、家具など、ほぼ同じアイテムに使用されています。製品を製造、販売する上では、その特性や天然皮革との違いについて理解しておく必要があります。本講義では、天然皮革との違いの他に、人工皮革と合成皮革の両者の構造や製造工程の違い、それぞれどのような種類、特徴があるのか、また、品質管理、取り扱い上の注意点などについて詳しく解説します。
5.「革製品の品質表示」
都立皮革技術センター 専門技術指導員 今井 哲夫
品質表示は、消費者が製品を選択し、安心して使用するための欠かせない情報です。本講義では、革製品について、景品表示法及び家庭用品品質表示法に基づく表示ルールや、各業界団体による自主基準、ガイドライン等について、事例を交えて解説します。また、革の定義について、日本産業規格(JIS)より制定された「JIS K 6541:2024 革(レザー)―用語」を紹介しながら解説します。
6.「革中の規制物質について」
株式会社エトールナカムラ 取締役 中村 泰久 氏
近年、環境や安全性に対する意識の高まりを背景に、生活用品から溶出する化学物質についての規制が世界的に強化されています。革製品については、どのような規制があるのか、革の製造で使用する化学物質のうち、規制の対象となる物質はどのような物質なのか等について、詳しく解説します。
7.「世界動向から見る日本の皮革産業のサステナビリティ戦略 ～JLIAサステナブル企業認証と日本エコレザー認定制度の役割～」
一般社団法人 日本皮革産業連合会 事務局長 吉村 圭司 氏
欧州の環境規制やブランド調達基準の厳格化により、素材の“背景”が問われる時代になっています。皮革は本来、畜産副産物を活用したサステナブル素材ですが、国際的な潮流の中でその価値をどう伝えるかが鍵です。本講義では、LWGなど海外認証の動きを踏まえ、日本の産業構造に適した仕組みとして整備された「JLIAサステナブル企業認証」と「日本エコレザー認定制度」を紹介します。信頼ある素材調達とブランド価値向上のために、企業が今取り組むべき方向性を考えます。
8.「紳士靴の基礎知識 ～靴の歴史・製法から検査のポイントまで～」
株式会社リーガルコーポレーション 調達本部 副本部長 石原 邦生 氏
良い靴は、素材と構造が大切です。本講義では、グッドイヤー・ウェルト製法等を始めた紳士靴の製造工程の基本から、歴史で辿る製法の進化、世界の靴メーカー等の紹介、木型、靴の手入れ方法、検査のポイントまで、紳士靴の魅力について幅広く解説します。
9.「天然皮革がサステナブル素材である理由と2025年の現状」
株式会社川善商店 代表取締役 (一般社団法人日本皮革産業連合会 TLA座長) 川北 芳弘 氏
昨今、天然皮革についての否定的で誤った情報が散見されるようになったことを受け、(一社)日本皮革産業連合会は、皮革・革製品がエコでサステナブルであることを発信していく『Thinking Leather Action (TLA)』事業を立ち上げました。みなさんに正しい知識を身につけていただけるよう、「なぜ、天然皮革がサステナブルな素材なのか」についてと「2025年の現状」について詳しく解説します。